



# 出雲崎中学校だより

〈第6号〉

出雲崎町立出雲崎中学校

TEL 0258-78-2137

FAX 0258-78-2164

令和4年12月23日発行

## 「自律」「慈愛」「挑戦」～2学期を振り返って②～

### 3年生学旅行

9月28日(水)、29日(木)の2日間、3年生の修学旅行を実施しました。出雲崎中学校は例年3年時の4月に関西方面への修学旅行を実施しているのですが、コロナ禍の状況を踏まえ、昨年度までの2年間は、新潟県内での遠足や旅行という形で活動しました。今年度こそ、「桜の季節に関西へ」と検討を重ねましたが、感染状況等を勘案して、残念ながら4月の実施、関西方面への旅行を断念。行先や内容等を変更して、この時期に県内1泊2日で実施することとなりました。

今回も、全行程を貸切バスで移動しました。1日目は、学校を出て最初に彌彦神社に向かいました。バスガイドさんの



先導で本殿まで歩き、記念撮影をした後、自由散策となりました。受験生としては、やはり合格祈願が一番の目的だったようです。各々、真剣に参拝する姿、御守を購入したりおみくじを引いて互いに報告し合ったりする姿があちこちで見られました。彌彦神社を出て、2つ目の訪問先は、燕市産業資料館でした。職員の方から丁寧に説明していただいたり、きれいな館内を自由に見学させていただいたりして、金物を始めとする燕の伝統産業の起源や歴史、最新の技術等を学ぶ貴重な機会となりました。国内で使われている金属洋食器の約9割が燕市で製造されているということで、今回は、全員がチタン製スプーンの酸化発色体験をさせていただきました。スプーンを自分の好みで鮮やかに彩ることができ、楽しみながら優れた技術に触れることができました。この日は、新潟ふるさと村で昼食をいただきましたが、生徒の最大の関心事は、お土産の購入だったようです。食事もさながらに、お菓子や小物など、たくさんの品物を抱えてレジの前に並んでいました。家族が喜ぶ顔を思い浮かべながら、一人一人に渡すものを選んでいたのでしょう。仲間同士で相談しながら、とても楽しそうに買い物をしていました。その後、ふるさと村から信濃川ウォーターシャトルに乗船して、朱鷺メッセに向かいました。信濃川の川面から見る県庁や伊勢丹の景色がとても新鮮でした。「万代橋をくぐる」という経験は、ほとんどの人が初めてだったのではないかと思います。1日目の最後に訪問した県立自然科学館には、パネル等の展示とともに様々な体験コーナーがあり、生徒は楽しく科学を学ぶことができました。ここでは、恐竜のぬいぐるみが生徒に大人気でした。今回は、月岡温泉に宿泊しましたが、お風呂はもちろん、とにかく料理が超豪華で、夕食も朝食もお膳いっぱいに並べられたメニューを大変美味しくいただきました。入浴後、班長・副班長会を行い、高橋実行委員長を中心に1日の行動を振り返りました。楽しく過ごすことができた、自分の役割を果たすことができた、人の話や指示をしっかりと聞き、出会う方々への挨拶や感謝の気持ちを大切にしたい…等々、自分たちの行動を真摯に振り返るとともに、前向きな発言がたくさんありました。

2日目は、最初に安田ヨーグルトの工場を訪問しました。普段、スーパー等で販売されている商品が実際に製造されている様子を間近で見学することができました。飲むヨーグルトをいただくとともに、スイーツやお土産を購入する時間もあり、朝からお腹が満たされました。その後は、みんなが楽しみにしていたサントピアワールドでした。昼食場所を確認した後、生徒は早速園内各所に散って行きました。様々なアトラクションに乗り放題ということで、ジェットコースターなどお気に入りの機種に何度も挑戦したり、時間ギリギリまでゲームコーナーで盛り上がり、お土産を選んだり、最高の笑顔で思い思いの時間を満喫していました。最後の訪問先、白根グレープガーデンでは、ぶどう狩りをしたり、シャインマスカット等の豪華なフルーツやスイーツをいただいたりと、修学旅行最後のひとときを名残惜しみながら過ごしました。



2日間、天候に恵まれ、大きく体調を崩す生徒もなく、充実した修学旅行になりました。今年度も県内での活動になりましたが、様々な体験の中で生徒の満面の笑顔がたくさん見られたことを、職員一同、大変嬉しく思っています。

## 創立50周年記念式典・学習発表会・書道パフォーマンス・合唱発表会

10月22日(土)、『OVER THE TOP～新たな未来へつなぐ「心耕」』をスローガンに、出雲崎中学校創立50周年記念式典を挙行了しました。当初は、令和3年度に記念講演会や祝賀会と合わせて盛大に開催する予定でしたが、コロナ禍の現状に鑑み、実行委員会で検討した結果、当初の予定より規模を縮小、参加者を制限し、在校生徒の活動を中心とした内容で一連の事業を進めるということになりました。PTA・後援会・同窓会の皆様からご尽力いただき、ようやく開催を実現することができました。

記念式典には、町長様、教育長様、町議会議長様をはじめとする来賓の皆様、後援会・同窓会・PTA役員の皆様、保護者の皆様からご臨席いただきました。\_\_\_\_実行委員長(PTA会長)の式辞、町長様からいただいたご祝辞から、50年という歴史の重みや未来を担う出中学生徒への期待の大きさを感じることができました。また、在校生を代表して、\_\_\_\_生徒会長が「伝統を繋ぐということは、まず出雲崎中学校のよさを知ること。そして、それをさらに進化させていくこと。歴代の先輩方も先輩から思いを託され、後輩に思いを託し、伝統を繋いできた。私たちもこの思いをしっかりと受け止め未来へと繋いでいきたい。全校生徒で協力し、笑顔あふれる出雲崎中学校を創りあげていきます。」と、力強く決意を述べました。

学習発表会では、最初に3名の代表生徒が、1学期から練り上げてきた各自の意見文を発表しました。どの発表も、様々な角度から自分や身の回りの物事を見つめ、今後の生き方について前向きに考えていこうとする、素晴らしい発表でした。大勢の前に立って自分の考えを述べるということで、とても緊張した様子が伺えましたが、3名の生徒はプレッシャーを乗り越え、堂々と自分の思いを全校生徒やご来場の皆様に伝えることができました。次に、各学年の代表生徒が、今年度の「総合的な学習の時間」の取組を発表しました。出雲崎中学校の総合学習テーマ「ふるさと出雲崎を愛し、未来の生き方を創造する～郷土学習と生き方学習～」に基づき、1年生「自然環境とともに生きる」、2年生「職場体験から学んだこと」、3年生「郷土の未来を考える」という内容についての発表でした。どの学年も、プレゼンテーションソフトを活用してこれまでの活動を上手にまとめ、活動を通して気付いたり考えたことを分かりやすく説明しました。最後に、「心耕」ヒストリーの発表を行いました。今回、出雲崎中学校50年の歴史を辿る中で、出雲崎町には「心耕」の精神が深く根付き、脈々と受け継がれていることを学びました。地域の人材が立ち上げ、地域の人々が支えた“心耕学園”の歴史について、生徒会本部役員の代表メンバーが、まとめた内容を立派に披露しました。

「心耕」の精神は、当校の教育目標「豊かな心 たくましい実践」に通ずるものがあります。今回、出雲崎中学校の新たなシンボルとして、実行委員会より「心耕」額を作成していただきました。揮毫者は、新潟大学教授の岡村鉄琴様です。岡村先生からは、式典にご臨席いただき、「心耕」の文字やそこに込められた思い等についてご講話をいただきました。また、今回、岡村先生が指導されている新潟大学書道専攻の学生の方々から、書道パフォーマンスを披露していただきました。会場一同が目を見張る素晴らしいパフォーマンスで、記念の日にふさわしい大変貴重な機会になりました。

昼食の後、創立50周年記念合唱発表会を行いました。この日のために、上杉実行委員長を中心に、丁寧に準備を進めてきました。また、各学級のリーダーを中心に、音楽の授業はもとより、学年朝会や放課後の時間等を利用して、それぞれが練習を積み重ねてきました。本番では、一人一人の一生懸命さや歌に込めた思いが伝わる立派な合唱を披露することができ、これも50周年記念にふさわしい発表会になりました。これを機に、さらに高みを目指し、仲間同士の絆が深まることを期待しています。



### 《意見文発表会》

- 1年：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
「出雲崎の海と私たち」  
2年：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
「言葉に責任を」  
3年：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
「何ができるか」

### 《合唱発表会》

- [1年] 課題曲 「夢の世界を」  
指揮：\_\_\_\_ 伴奏：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
自由曲 「君をのせて」  
指揮：\_\_\_\_  
[2年] 課題曲 「翼をください」  
指揮：\_\_\_\_ 伴奏：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
自由曲 「COSMOS」  
指揮：\_\_\_\_ 伴奏：\_\_\_\_  
[3年] 課題曲 「この地球のどこかで」  
指揮：\_\_\_\_ 伴奏：\_\_\_\_ \_\_\_\_  
自由曲 「結ゆいー」  
指揮：\_\_\_\_ 伴奏：\_\_\_\_  
[全校合唱] 「Let's search for tomorrow」  
指揮：\_\_\_\_ \_\_\_\_